

編集後記

大学院生のころからプラズマ実験に携わるようになって、早いもので18年が経過してしまいました。当時は多くの大学で核融合プラズマの実験研究が行われていたと記憶しているが、その後核融合研究のステージが前進し、大規模装置への集約化の傾向が進んだことで、実験研究に対する敷居がやや高くなったように感じている。

この夏に、高校生～大学院生を対象とした4つのイベントに参加する機会をいただいた。それぞれに異なった趣旨のイベントであったが、参加して下さった若者が抱く自然科学への高い関心がこちらにも伝わってきてうれしく思った。自然科学に興味を抱くきっかけとしては、自然現象やハードウェア、あるいはソフトウェアに直接的に触れることが肝要だろう。特に実験や工作好きになる場合としては、一昔前であれば無線機材やオーディオアンプの自作、あるいはラジコンやミニ四駆だったのかもしれない

が、最近では様々な電子工作キットが販売されており、驚くほど多様な実験が家庭でも可能である。

さて、肝心のプラズマ実験については、その面白さをうまく伝える良い方法がなかなか思いつかない。太陽活動やオーロラの動画を通してプラズマのダイナミックな振る舞いを紹介することはできるが、実験研究者のはしくれとしてはプラズマの面白さをぜひ実験によって直接的に呈示したいと考えている。プラズマボールは見ていて飽きないが、電磁流体的なダイナミクスを直接肉眼で見ていただくためには、定常電流の流れたそれなりのサイズのプラズマを維持したくなるのだが、電源を含めてどうしても大がかりになってしまいがちである。現在は10月下旬に開催される本学のオープンキャンパスに向けて、新作の実験デモを準備検討しているところであるが、うまくいくかどうか。

(井 通暁)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副会長	斧 高一(推薦委員長：研究所助成)	小森 彰夫(推薦委員長：学会賞)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	安藤 晃(企画委員長)	石原 修(研究部会連絡委員長)	上杉 喜彦(支部・地区研究連絡会委員長)	
	甲斐 俊也(財務委員長)	草間 義紀	佐々木浩一	
	清水 克祐	白神 宏之	白谷 正治(年会運営委員長)	
	豊田 浩孝	永津 雅章(広報委員長)	福山 淳	
	堀池 寛	米田 仁紀(編集委員長)		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：米田仁紀(電通大) 副委員長：豊田浩孝(名大)

エディタ：安藤 晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大)、佐々木浩一(北大)

編集委員：石田 學(JAXA)、井 通暁(東大)、岩本晃史(核融合研)、内田儀一郎(九大)、浦野 創(原子力機構)、大場恭子(東工大)、落合謙太郎(原子力機構)、笠田竜太(京大)、梶村好宏(明石高専)、糟谷直宏(九大)、佐々木 明(原子力機構)、柴田裕実(阪大)、清水一男(静岡大)、城崎知至(広島大)、鈴木達也(長岡技科大)、高橋和生(京都工繊大)、徳沢季彦(核融合研)、成嶋吉朗(核融合研)、長谷川 純(東工大)、長谷川裕記(核融合研)、林 信哉(九大)、菱沼良光(核融合研)、古川 勝(鳥取大)、増井博一(九工大)、松浦寛人(大阪府立大)、籾内俊毅(阪大)、山田英明(産総研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第89巻第10号

編集・発行

〒464-0075 名古屋千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2013年(平成25年)10月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。